



2023年6月期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2023年8月4日

2023年6月期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

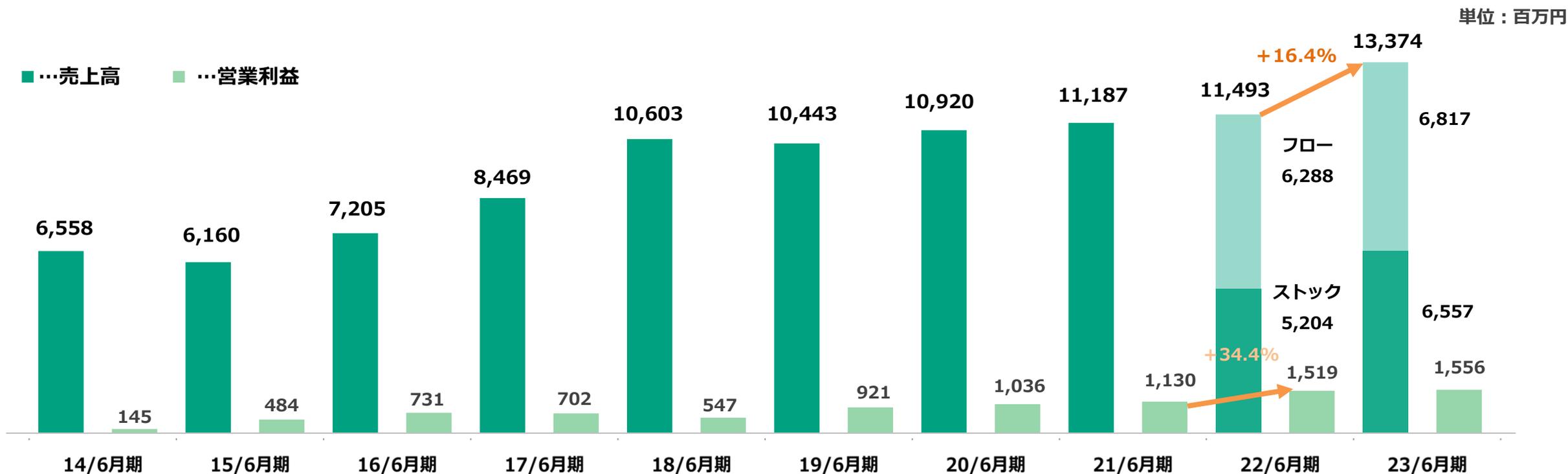
2023年6月期 業績サマリー

売上高、当期純利益ともに過去最高、営業利益は直近20年間での最高益を更新、5期連続で増益。売上総利益は前期比15.4%増とほぼ目標どおり推移した一方、販売管理費は人的資本投資等が計画外で増加。受注残高は初めて100億円を突破

単位：百万円

	22年6月期実績		23年6月期実績		増減	前期比	期初計画
	金額	売上比	金額	売上比			
売上高	11,493	-	13,374	-	+1,881	+16.4%	13,500
売上総利益	3,698	32.2%	4,269	31.9%	+571	+15.4%	4,310
販売管理費	2,179	19.0%	2,713	20.3%	+534	+24.5%	2,510
営業利益	1,519	13.2%	1,556	11.6%	+37	+2.4%	1,800
経常利益	1,556	13.5%	1,603	12.0%	+47	+3.0%	1,840
当期純利益	1,055	9.2%	1,165	8.7%	+110	+10.4%	1,280
受注高	15,722	-	14,785	-	△937	△6.0%	
受注残高	9,563	-	10,974	-	+1,411	+14.8%	

売上高は、ストック売上比率を高めながら大幅増収。営業利益は直近20年間での最高益を更新、5期連続で増益。注力してきたストック売上は大幅に増加し、売上高に占めるストック比率はほぼ5割に高まる



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件（クラウドサービス事業に係るシステムの利用料やシステム運用の対価、または、自社製品や他社製品の保守業務等）
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件（受託開発業務の対価や、自社製品、他社製品の販売対価等）

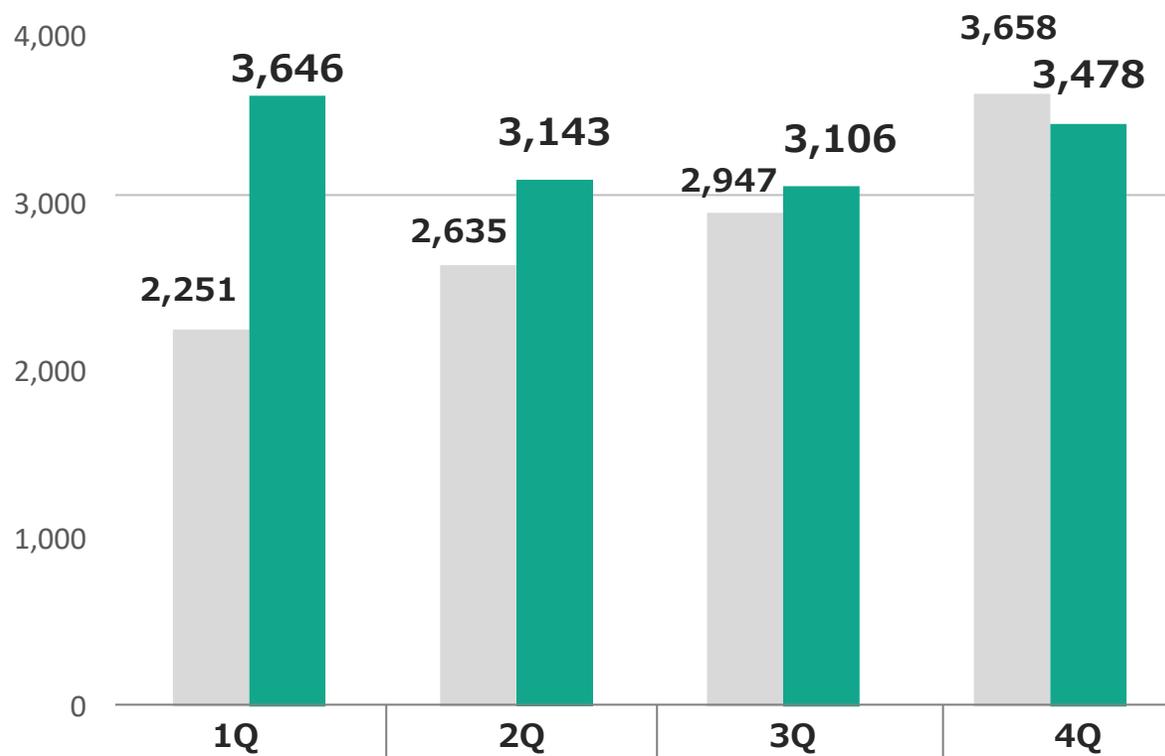
* 前期より、ストック/フローの類型による売上高の分類を再定義して運用しています

システム開発やクラウドサービスを中心に、各月の売上高は安定的に10億円を計上できる体質に変革

売上高

単位：百万円

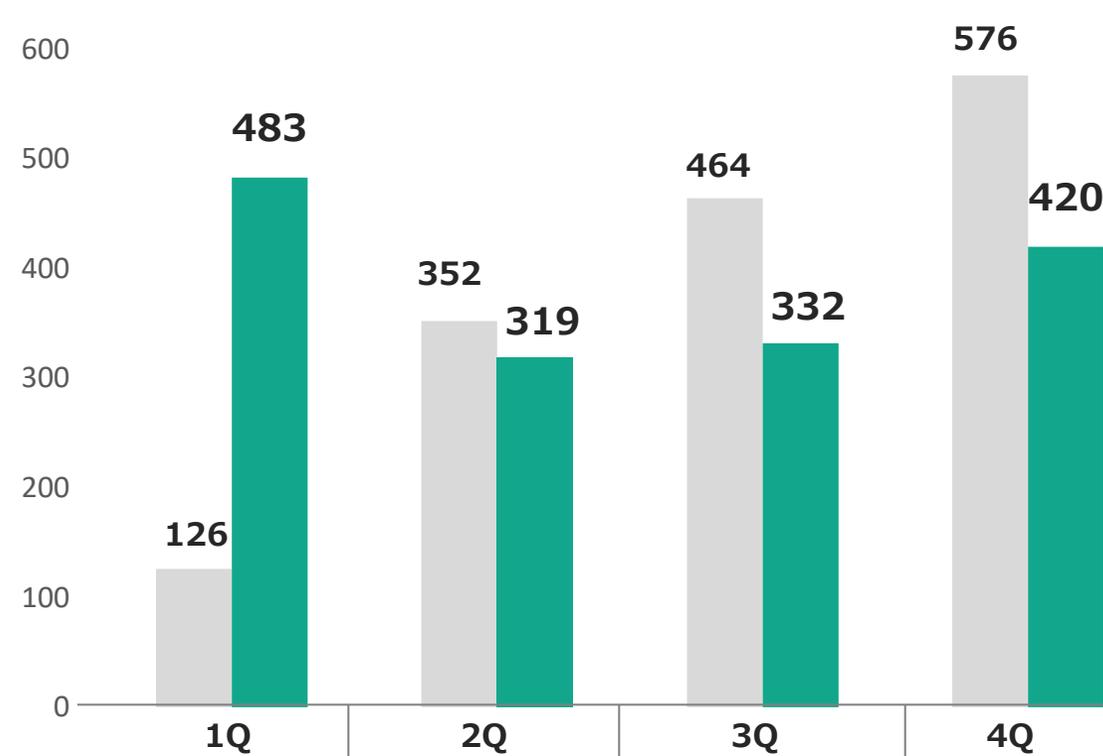
■ …22年6月期 ■ …23年6月期



営業利益

単位：百万円

■ …22年6月期 ■ …23年6月期



2023年6月期 製品カテゴリ別売上高

決済・金融におけるシステム開発、クラウドサービスが大幅に伸長、保守も堅調に増加
ハードウェア更改、セキュリティ関連も増加して大幅増収

単位：百万円

	22年6月期 実績	23年6月期 実績	増減	前期比
売上高	11,493	13,374	+1,881	+16.4%
決済・金融	9,229	10,408	+1,179	+12.8%
システム開発	5,089	6,015	+926	+18.2%
保守	1,497	1,638	+141	+9.4%
自社製品・サービス	567	505	△62	△10.9%
他社製品（ハードウェア等）	2,073	2,249	+176	+8.5%
クラウドサービス	1,173	1,867	+694	+59.2%
セキュリティ	1,090	1,098	+8	+0.7%

* 前期から製品カテゴリの登録を一部見直し、新たな製品カテゴリの数値を開示しています

2023年6月期 事業領域別売上高

クレジットカード会社向けシステム開発の大型案件、クラウドサービス、FEPシステム更改等により大幅増収

単位：百万円

	22年6月期 実績	23年6月期 実績	増減	前期比
売上高	11,493	13,374	+1,881	+16.4%
決済・金融	9,229	10,408	+1,179	+12.8%
FEP・不正検知	6,241	6,787	+546	+8.7%
決済システム等	2,187	2,747	+560	+25.6%
金融・その他	799	873	+74	+9.3%
クラウドサービス	1,173	1,867	+694	+59.2%
セキュリティ	1,090	1,098	+8	+0.7%

* FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2023年6月期 顧客別売上高

DNPの売上は、セキュリティ関連、決済システム開発等により増加
システム開発会社の売上は、FEPシステム更改のほか、システム開発の大型案件により増加

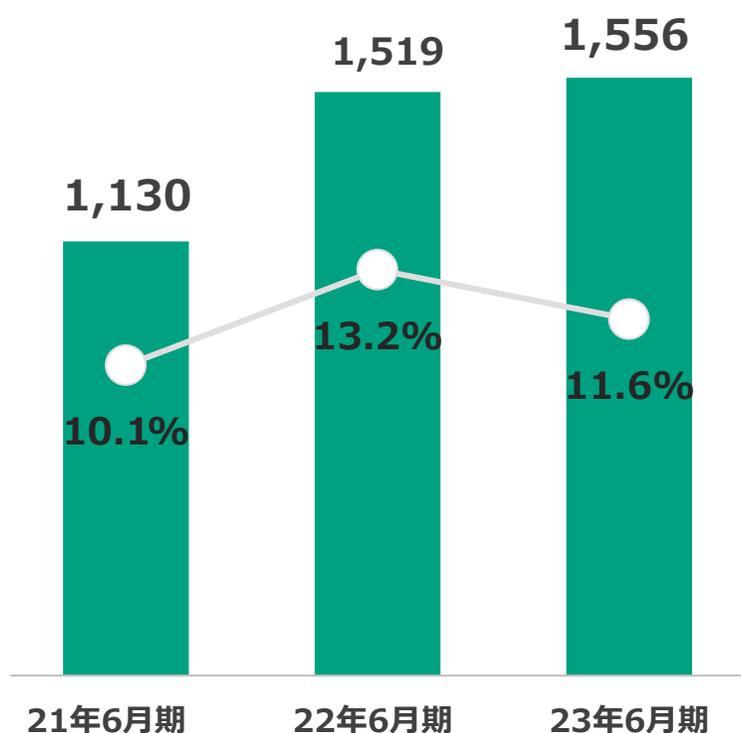
単位：百万円

	22年6月期 実績	23年6月期 実績	増減	主な案件
1. D N P	1,524	1,665	+141	TSP開発（スマートフォン決済） システム運用（24/365） 鍵管理システム
2. システム 開発会社	891	1,658	+767	FEPシステム更改によるハードウェア 販売、システム開発等
3. システム 開発会社	681	1,177	+496	クレジットカード会社向けシステム 開発等

2023年6月期 営業利益

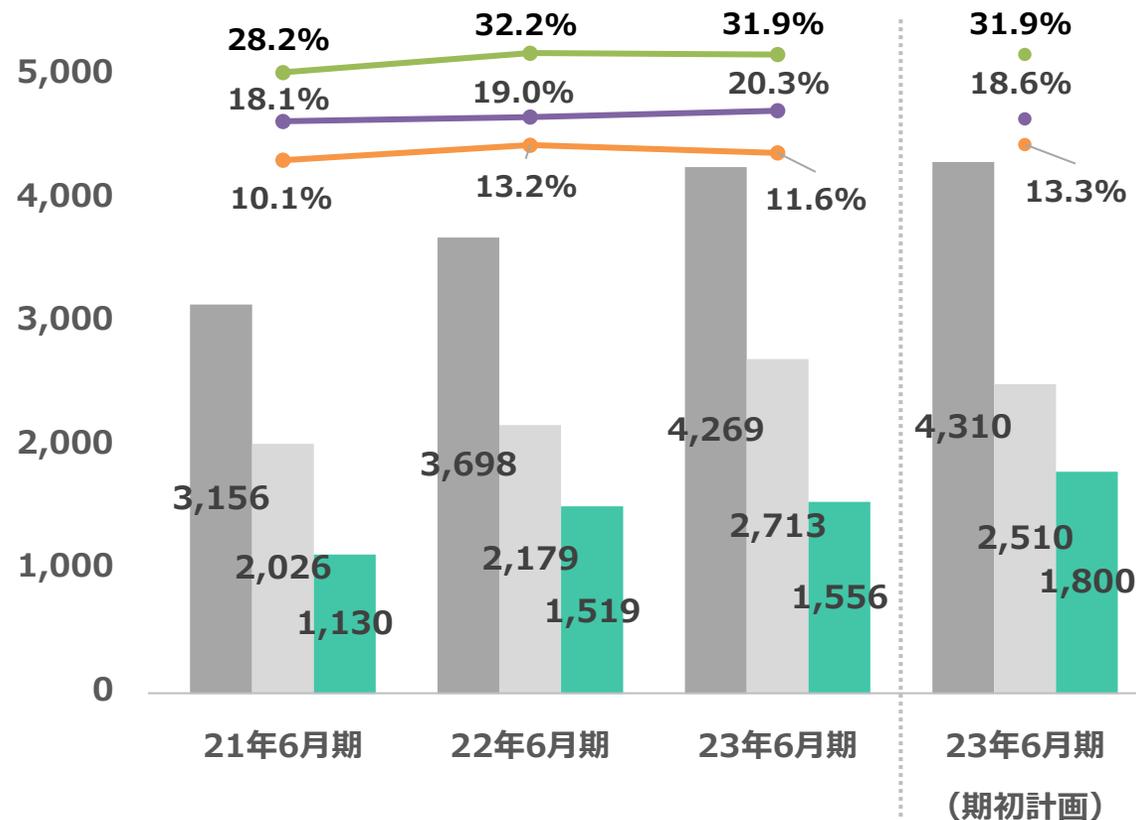
売上総利益は前期比15.4%増とほぼ計画どおり推移した一方、販売管理費はベースアップを含む人的資本投資、オフィス環境整備、IT投資等が計画外で増加したが、5期連続での増益を達成

■ …営業利益 ● …営業利益率



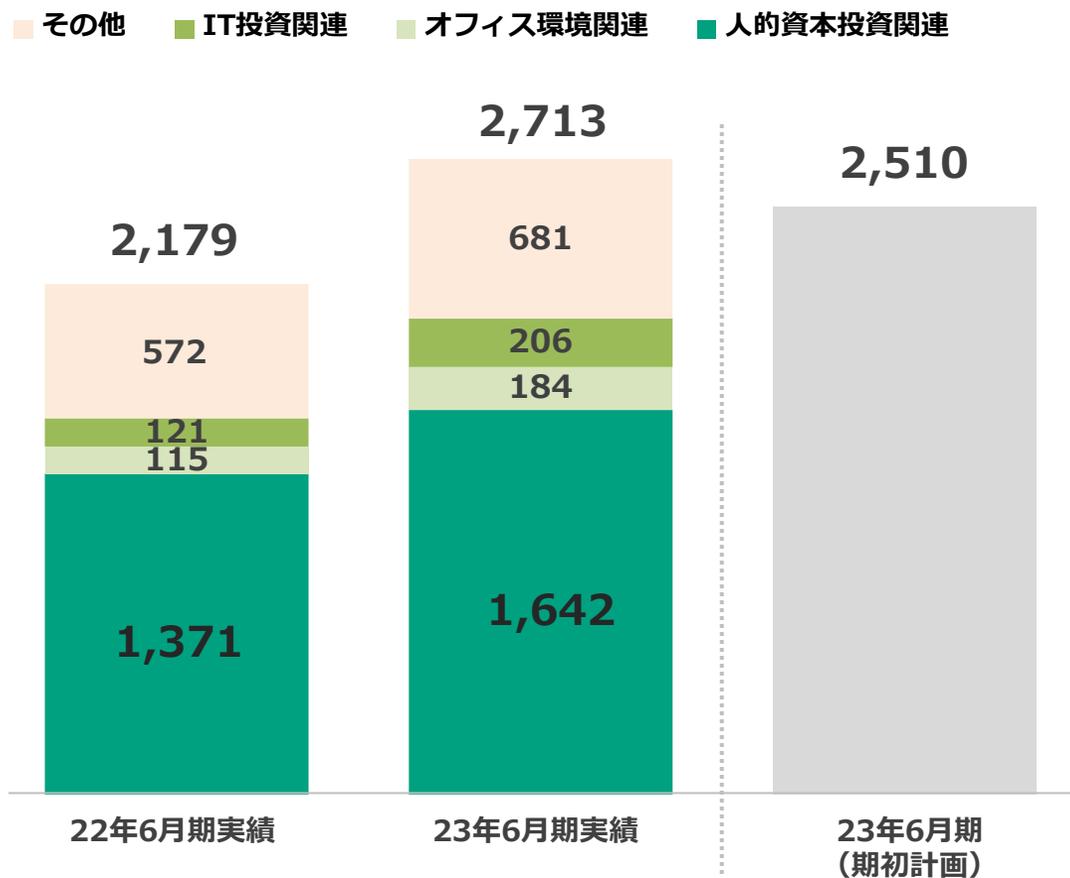
■ 売上総利益 ■ 販売管理費 ■ 営業利益
● 売上総利益率 ● 販売管理費率 ● 営業利益率

単位：百万円



参考) 2023年6月期 販売費及び一般管理費

ベースアップ、採用・教育費等の人的資本投資、オフィス増床、フリーアドレス、シンクライアント端末等のオフィス環境整備、ソフト利用料等のIT投資等が計画外で増加



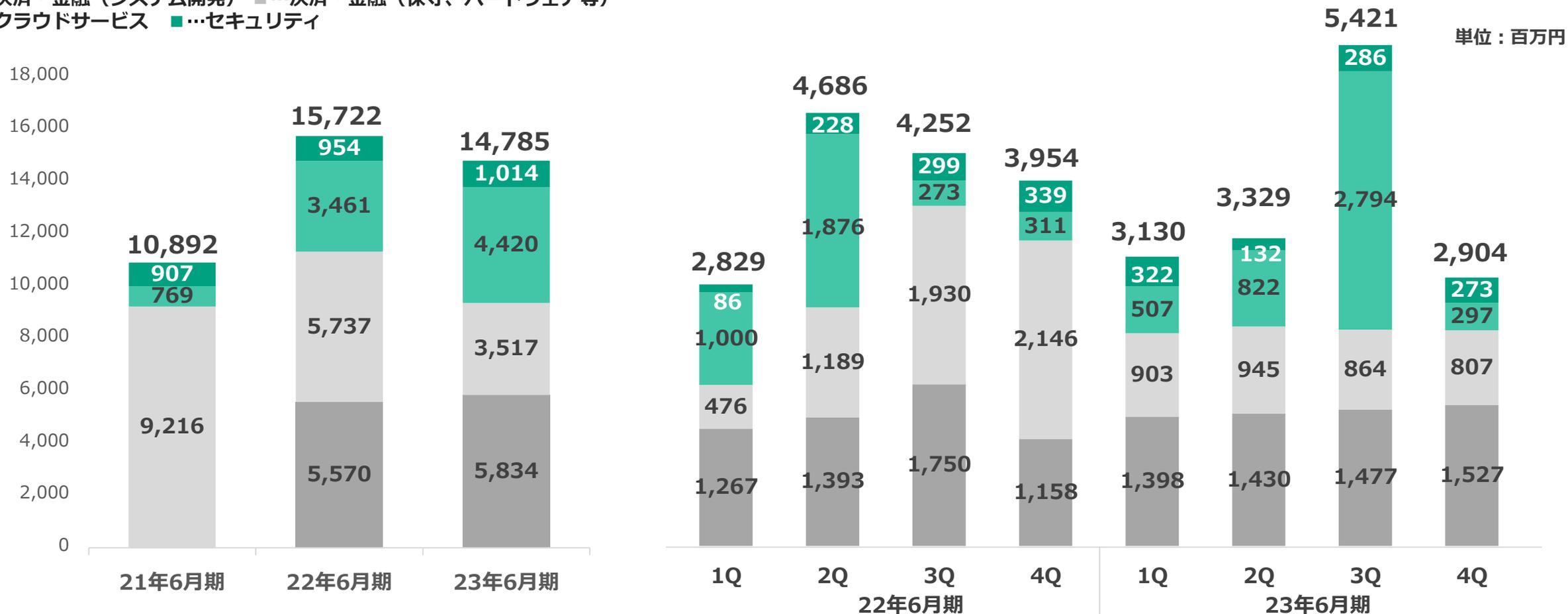
単位: 百万円

前期比: +534百万円
 計画比: +203百万円

	23年6月期実績	増減
人的資本投資関連 (人件費、採用・教育費)	1,642	+270
オフィス環境関連 (地代家賃、消耗品費)	184	+69
IT投資関連 (ソフト利用料、通信費)	206	+85
その他 (研究開発費、業務委託費、 広告宣伝費等)	681	+110
合計	2,713	+534

クラウドサービスとセキュリティの受注は堅調に推移。決済・金融は、ハードウェアの受注が減少

■ …決済・金融（システム開発）
 ■ …決済・金融（保守、ハードウェア等）
 ■ …クラウドサービス
 ■ …セキュリティ

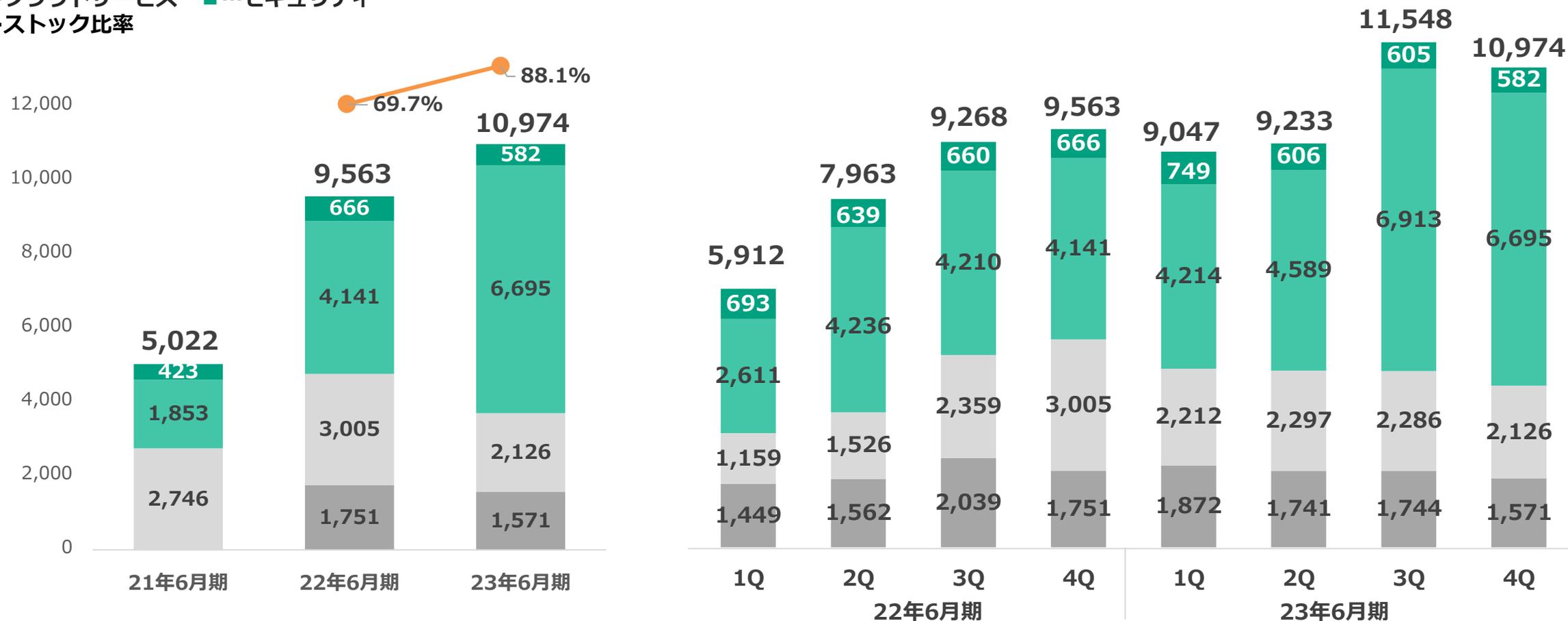


* 前期から製品カテゴリの登録を一部見直し、新たな製品カテゴリの数値を開示しています

受注残高はクラウドサービスを中心に増加し過去最高を更新

- …決済・金融（システム開発）
- …決済・金融（保守、ハードウェア等）
- …クラウドサービス
- …セキュリティ
- …ストック比率

単位：百万円



* 前期から製品カテゴリの登録を一部見直し、新たな製品カテゴリの数値を開示しています

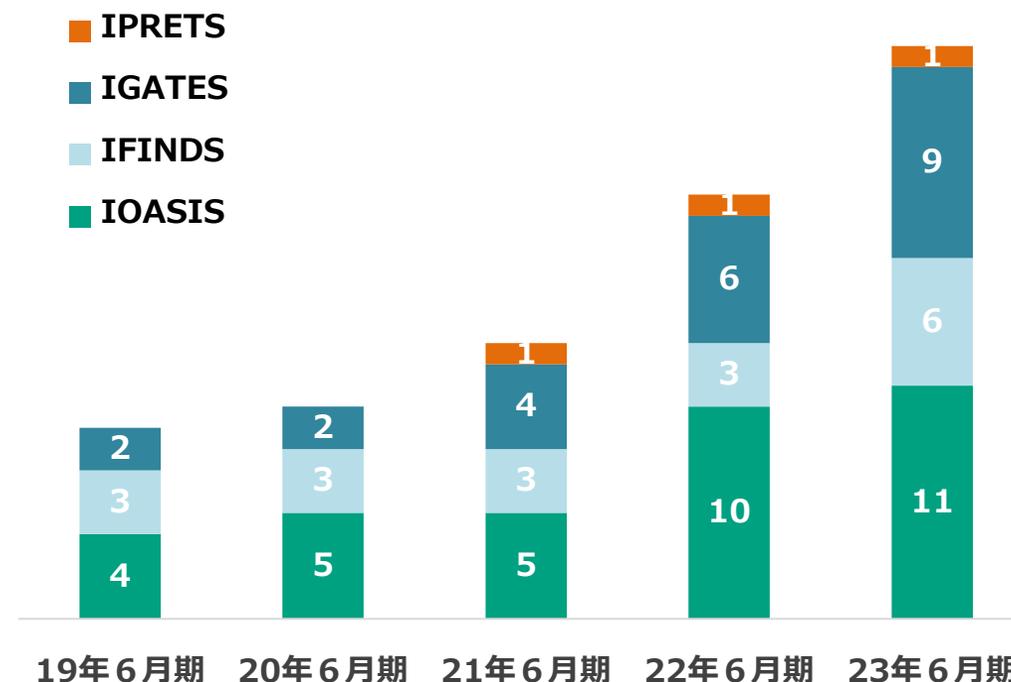
2023年6月期 クラウドサービス実績

売上高は、ユーザー数が2年間で13社から27社に倍増し大幅に伸長。直近では、不正検知の「IFINDS」とネットワーク接続スイッチングサービスの「IGATES」がユーザー数を拡大。利益は「IOASIS」のユーザー数拡大に伴い体制強化の費用が増加

23年6月期 実績

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	計画	430	450	470	650	2,000
	実績	434	447	469	515	1,867
売上総利益	計画	33	67	62	138	300
	実績	△4	29	44	71	140

導入社数



2023年6月期 クラウドサービス受注

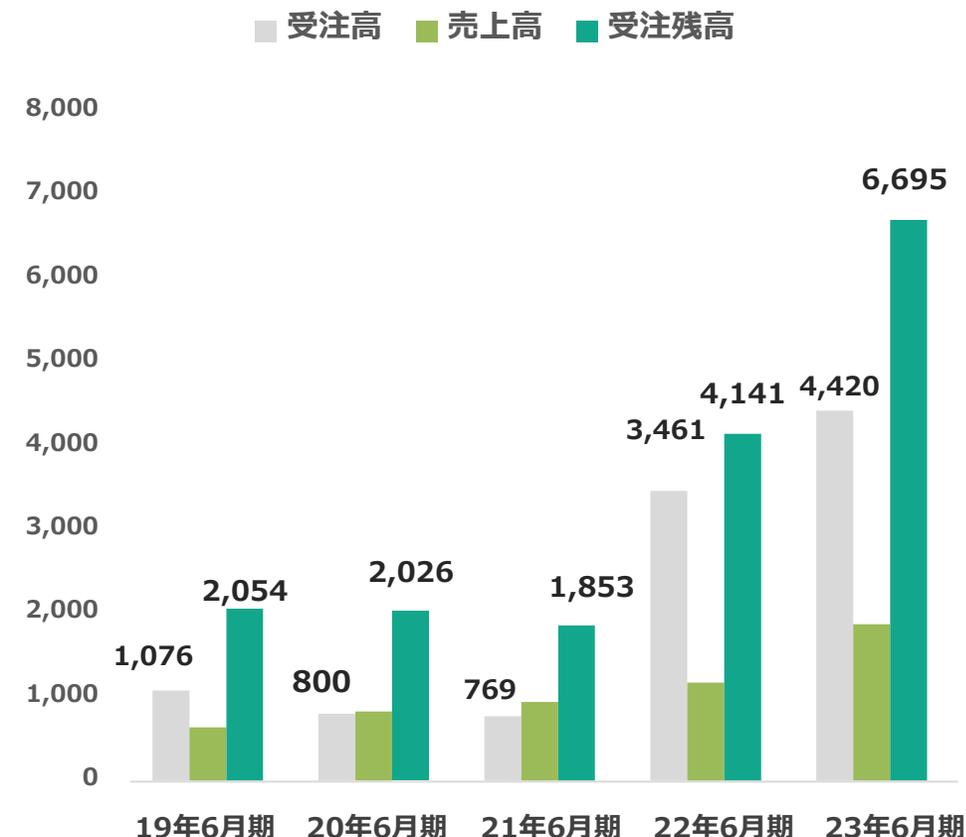
クレジット業界における、不正検知のニーズが急速に高まり、またシステム基盤がモダナイゼーションや費用対効果の向上によるクラウド導入の動きが加速化により、受注高が大幅に伸長

単位：百万円

23年6月期 実績

		1Q	2Q	3Q	4Q
受注	受注高	507	822	2,794	297
	受注残	4,214	4,589	6,913	6,695

サービス名	概況
■ IOASIS	地銀や新規参入サービス事業者からの引き合いが増加
■ IFINDS	AIスコアリングによる不正検知やイシュー間の不正検知情報共有サービスを追加し、顧客数が順調に増加。業界横断の共同利用型プラットフォーム開発を始めており、トップベンダーとして不正利用防止策の進化を目指す
■ IGATES	大規模の業界横断の共同利用型プラットフォーム開発を受注



2023年6月期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

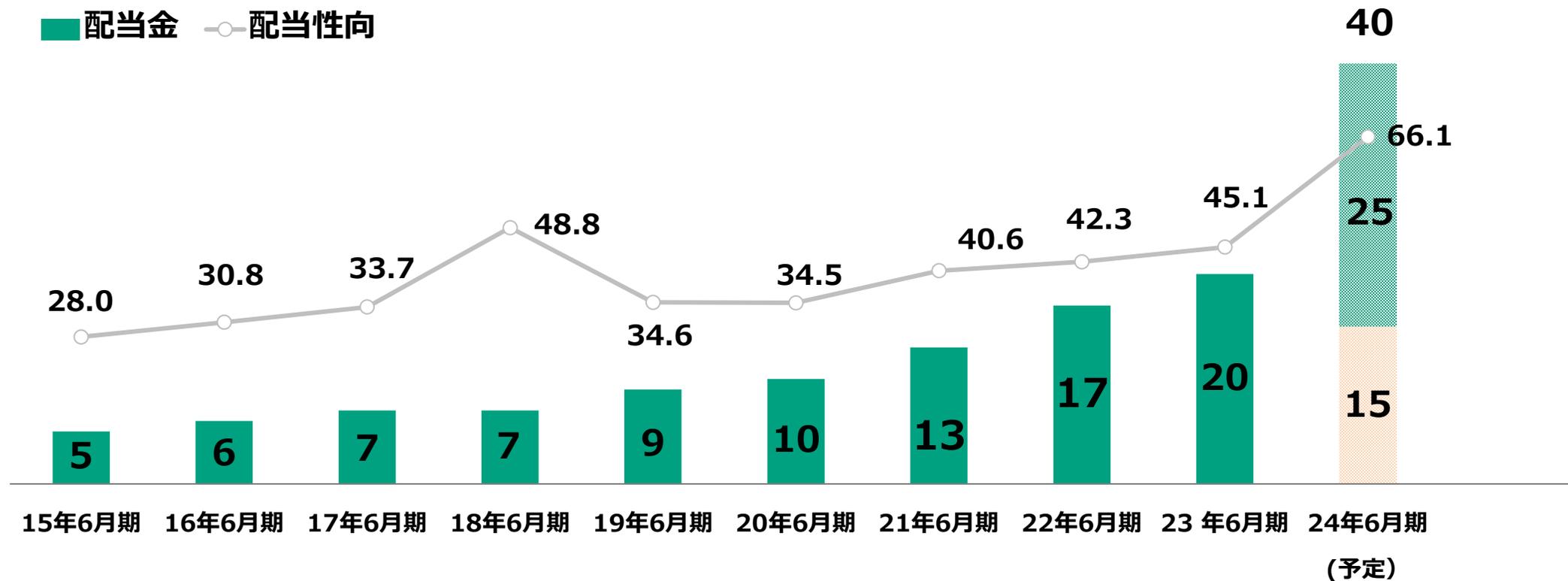
2024年6月期 業績予想

単位：百万円

	23年6月期実績			24年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	6,789	6,585	13,374	7,000	8,000	15,000	+12.2%
決済・金融	5,393	5,015	10,408	5,160	5,840	11,000	+5.7%
クラウドサービス	881	985	1,867	1,190	1,310	2,500	+33.9%
セキュリティ	514	583	1,098	650	850	1,500	+36.6%
営業利益 (率)	803 (11.8%)	753 (11.4%)	1,556 (11.6%)	850 (12.1%)	1,400 (17.5%)	2,250 (15.0%)	+44.6%
経常利益 (率)	824 (12.1%)	778 (11.8%)	1,603 (12.0%)	870 (12.4%)	1,420 (17.8%)	2,290 (15.3%)	+42.9%
当期純利益 (率)	558 (8.2%)	607 (9.2%)	1,165 (8.7%)	600 (8.6%)	990 (12.4%)	1,590 (10.6%)	+36.5%

株主還元

2023年6月期の期末配当は、期初計画どおり前期から3円増配し20円を予定
2024年6月期からは、配当性向を4割から5割程度に方針変更。また2024年6月期は創立40周年の記念配当10円を加え、中間配当15円、期末配当25円の年間40円の配当を予定



2023年6月期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

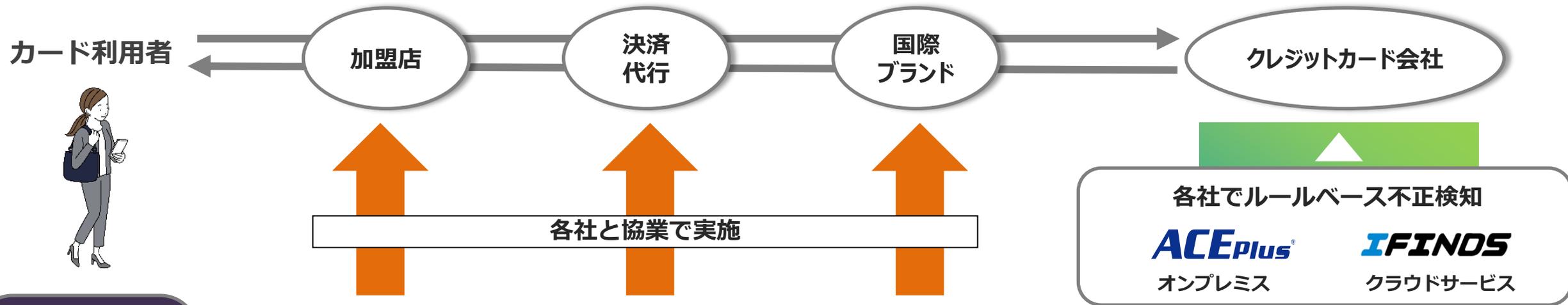
2024年6月期 注力施策

参考資料

不正検知サービス / 最先端の取り組み

2022年11月に不正対策プラットフォームを発表、順次新サービスを投入していく
 決済フロント（加盟店・決済代行等）も含む、業界横断型不正対策スキームを目指している

■ 決済データ全体の流れと新たな不正検知の取組み



2022年 カード不正利用被害額
436 億円
 (過去最大)

出典：一般社団法人日本クレジット協会
 「クレジットカード不正利用被害の集計結果」
 (2022年版)

FARIS

すべてのプレイヤーと連動し、業界横断型不正対策プラットフォームを開始

加盟店・決済代行向け	カード会社向け
JCBが運用する配送停止システムのリプレイス案件着手、 不正検知システムとの配送停止依頼連動 検討開始	第2弾 各カード会社のデータを集約し広範囲かつ高精度に分析し カード情報が流出した可能性のある店舗を特定 「FARIS CPP分析サービス」を開始
不正発生情報を各社間で共有することでルールに活用するPoC、ダークウェブ上に流出している漏洩カード情報を各社に展開し不正対策を強化するPoCを開始	第1弾 IWIとPKSHAは、 カード不正手口に関するデータシェアリング を実現し、不正を防止できる不正検知サービス「FARIS 共同スコアリングサービス Powered by PKSHA Security」を開始

決済事業における領域拡大 / 決済DX

クレジットカード業界は、システム基盤のモダナイゼーションや費用対効果の向上のために、内製化に伴う外部からの洗練された開発力やクラウド導入等の動きを加速化
国内トップシェア※の製品・サービスの開発力と顧客との信頼関係を強みに領域を拡大

国内トップシェア※の製品・サービス

※当社調べ

FEP

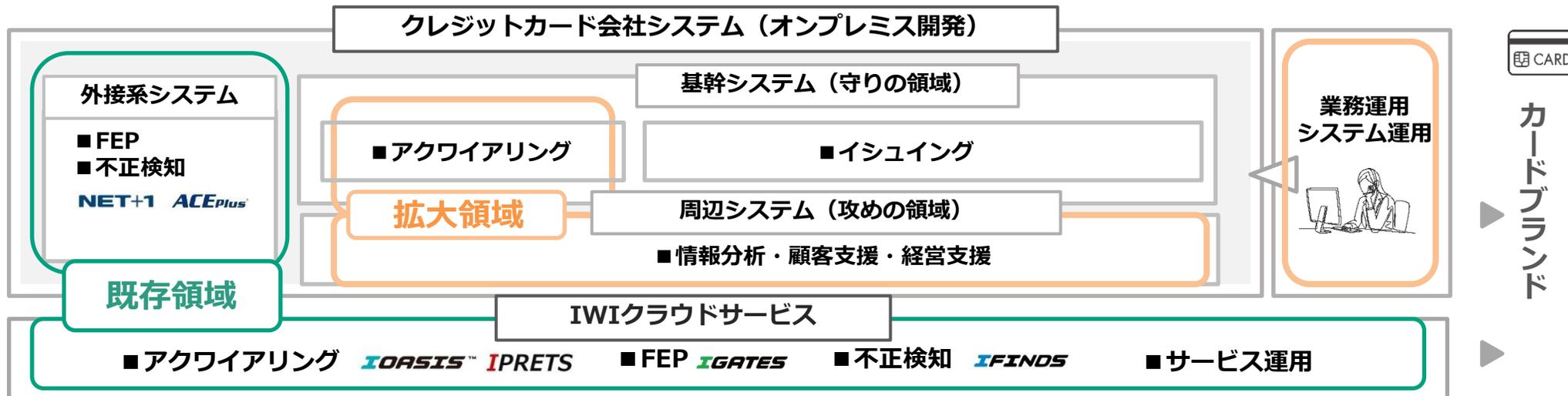
NET+1 IGATES

不正検知

ACEplus IFINDS

アクワイアリング

IOASIS™



システム開発の大型案件等を受注

セキュリティ事業における領域拡大 / セキュリティクラウドサービス

大手やインフラ企業を中心に展開していた製品をベースに、業種・業界・規模を問わず様々な企業向けにセキュリティクラウドサービスを開始
アジア展開も開始し、ビジネス領域を拡大

内部情報漏洩対策 ソリューション

大手やインフラ企業を中心に豊富な実績を誇る「CWAT」のサービス型クラウドを開発。管理サーバー機器の手配や構築、保守運用がクラウド型で不要となり、導入期間やトライアル期間の大幅な短縮を実現



IT資産管理 ソリューション

自動取得した端末のアプリケーション情報から、社内のセキュリティポリシーに違反するアプリケーションをリアルタイムに検知し、制御。セキュリティ対策を資産情報側からも強化



エンドポイント セキュリティ

攻撃を成立させないエンドポイントセキュリティとして、昨今増加しているランサムウェアなどのマルウェア攻撃から保護できるクラウドサービスを開始



セキュリティ インテリジェンス

組織のリスクとなりうる情報を取得し、早期対策、IOC調査（サイバー攻撃の痕跡調査）を可能とし、組織に関する脅威情報の早期に発見できることで、発生しうる重大なセキュリティ侵害を回避できるサービスを開始



事業戦略と人財戦略の関連性を深め、次世代の成長に向けた人財・共創基盤を形成する

2023年4月に人的資本経営推進室を新設

最近の主な活動*

* 詳細は当社コーポレートサイトのニュースや社長対談などに掲載
<https://www.iwi.co.jp/>

人財基盤

- **人財資本経営推進室のプロジェクト開始**
事業戦略に基づく「組織デザイン」、組織とチームと個人が連動した「キャリアデザイン」の策定をスタート
- **インキュベーションプロジェクト発足**
起業家マインドと経営感覚を備えた社員の育成と新たな収益事業の創出を目的とし、函館や沖縄などの大学・企業との共創、社内育成塾をスタート
- **ヒューマンスキルの向上**
管理職を対象としたチームビルディング/ダイバーシティ&インクルージョン/評価スキル研修や、FC東京協力のもとスポーツメンタルヘルスケアを活用した全社員向け研修を実施し、様々な角度から人財育成へアプローチ

共創基盤

- **共創型オフィス環境**
ワーケーションやテレワークなど多様な働き方を推進する一方、部門を越えて人と人がリアルに接する環境を整備。リアルコミュニケーションの価値を高め、新たなイノベーションを生み出す取組みをスタート
- **スポーツを通じた共創**
FC東京スポンサー活動を活用した社内プロジェクト「Link」を発足。社内コミュニケーションと健康向上、地域との共創を目的に、全社員参加型で活動をスタート

事業の信頼性を高め、持続的な社会に貢献することを目指す

2023年5月にサステナビリティに関する重要課題（マテリアリティ）を特定

最近の主な活動*

* 詳細は当社コーポレートサイトのニュースや社長対談などに掲載
<https://www.iwi.co.jp/>

環境にやさしい持続可能な 未来社会を創る

- **全国山の日協議会スペシャルサポーター**
ESG課題の取組みの一つとして、社員の環境意識の向上、同協議会が取り組む活動をともに盛り上げていく目的で特別賛助会員となる
- **沖縄県宮古島市でワーケーションの実証実験を開始**
美しい自然景観に囲まれた宮古島にてワーケーションを実施。多様な働き方を推進し、社員のウェルビーイング実現、地域と接する機会創出による環境保全への意識の向上に努める

自分らしく輝ける社会を創る

- **函館高専と連携協定を締結**
当社のエンジニアが情報関連の授業の一部に参画し、学生のさらなる学習意欲の向上や教育内容の充実化を図る
- **「働きやすさ」と「自律的なキャリア形成」を支援する休暇制度の拡充**
有給休暇の取得促進、育児休暇支援、介護休暇の有給化、自己啓発支援等
- **「障がい者アート」常設展示**
障がいのあるアーティストが制作したアート作品を本社、函館事業所に多数展示。障がい者の経済的自立支援、多様性を尊重する意識醸成を図る

イノベーションを通じて、 安全で豊かな社会を創る

- **文書作成・自動生成の日本語を校正**
ChatGPT等AIチャットボットにより自動生成された文章や金融機関等における特有な日本語表現をチェックする「AI日本語校正ツール」開発
- **地域の特産による地方創生を技術で支援**
地域の特産物を画像データ化し、商品と紐づける技術を開発。地方の省人店舗にて活用予定
- **省電力電子ペーパーで持続可能な社会へ**
電池で稼働するため、電力をほとんど消費しない電子ペーパーを提供。画像表示や切替えに係るデジタルITソリューションを開発

社会から信頼を高める リスク管理とガバナンス

- **BCP**
社会環境や事業内容の変化に対し、災害や緊急事態に備えたBCPの再構築プロジェクトをスタート
- **コンプライアンス**
リスク管理委員会とサステナビリティ委員会の連携強化を図り、網羅的なリスクマネジメントを実行する

インテリジエントウェイブは、
ビジネスリライアビリティを実現し
持続可能な社会に貢献します。

2023年6月期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

2023年6月期 製造原価明細

単位：千円

	22年6月期				23年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
材 料 費	7,194	8,162	11,264	10,943	21,857	6,582	13,961	9,590
労 務 費	718,848	734,397	714,332	724,102	731,531	737,858	696,398	721,495
経 費	431,898	413,397	403,356	501,360	486,571	517,615	512,983	519,957
外 注 加 工 費	603,162	668,363	757,872	831,229	892,098	911,802	929,561	1,047,096
当 期 総 製 造 用 費	1,761,105	1,824,322	1,886,826	2,067,636	2,132,058	2,173,859	2,152,905	2,298,140
期 首 仕 掛 品 高	209,668	283,587	279,908	324,040	257,338	317,327	262,103	276,529
期 末 仕 掛 品 高	283,587	279,908	324,040	257,338	317,327	262,103	276,529	216,725
他 勘 定 振 替 高	247,200	344,251	396,910	376,174	337,209	382,237	380,374	378,347
当 期 製 品 製 造 原 価	1,439,985	1,483,749	1,445,783	1,758,164	1,734,864	1,846,841	1,758,103	1,979,597

2023年6月期 販売費及び一般管理費

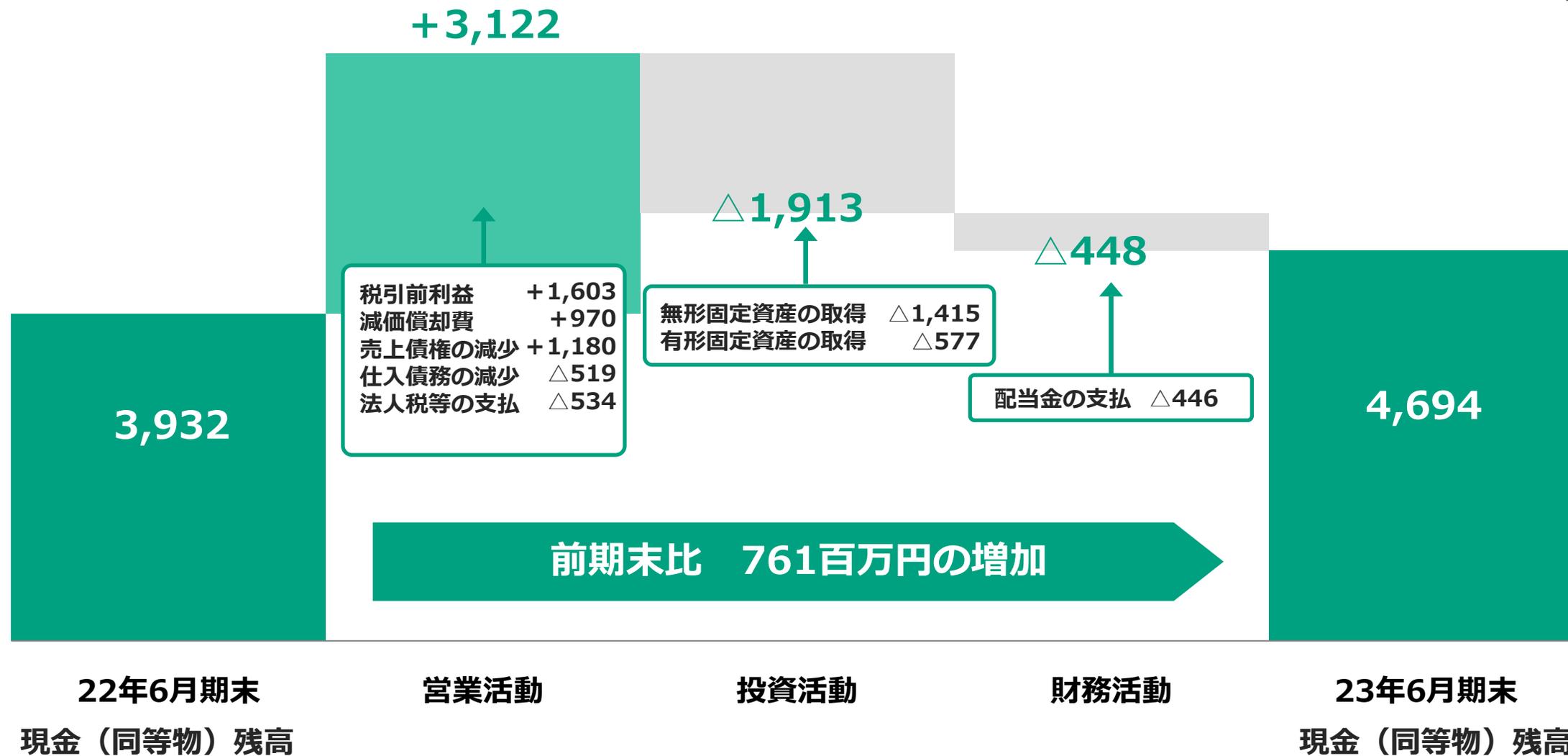
単位：千円

	22年6月期				23年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	290,810	310,527	335,648	361,087	384,909	388,481	372,704	417,413
採用教育費	10,332	13,989	24,046	24,878	14,951	22,121	18,514	23,196
地代家賃	18,793	18,328	16,822	17,320	24,509	25,362	24,550	28,884
広告宣伝費	12,691	11,432	12,179	9,110	9,994	13,631	20,482	17,765
研究開発費	9,301	5,513	1,855	0	1,319	6,972	11,463	15,694
減価償却費	9,570	9,705	10,193	11,260	9,125	10,246	10,045	12,840

	22年6月期実績	23年6月期実績	増減	単位：百万円
販管費	2,179	2,713	+534	
		人件費	+265	
		採用教育費	+5	
		広告宣伝費	+16	
		研究開発費	+18	
		その他	+230	(ソフト利用料 +68、消耗品費 +37 業務委託費 +15など)

2023年6月期 キャッシュ・フロー

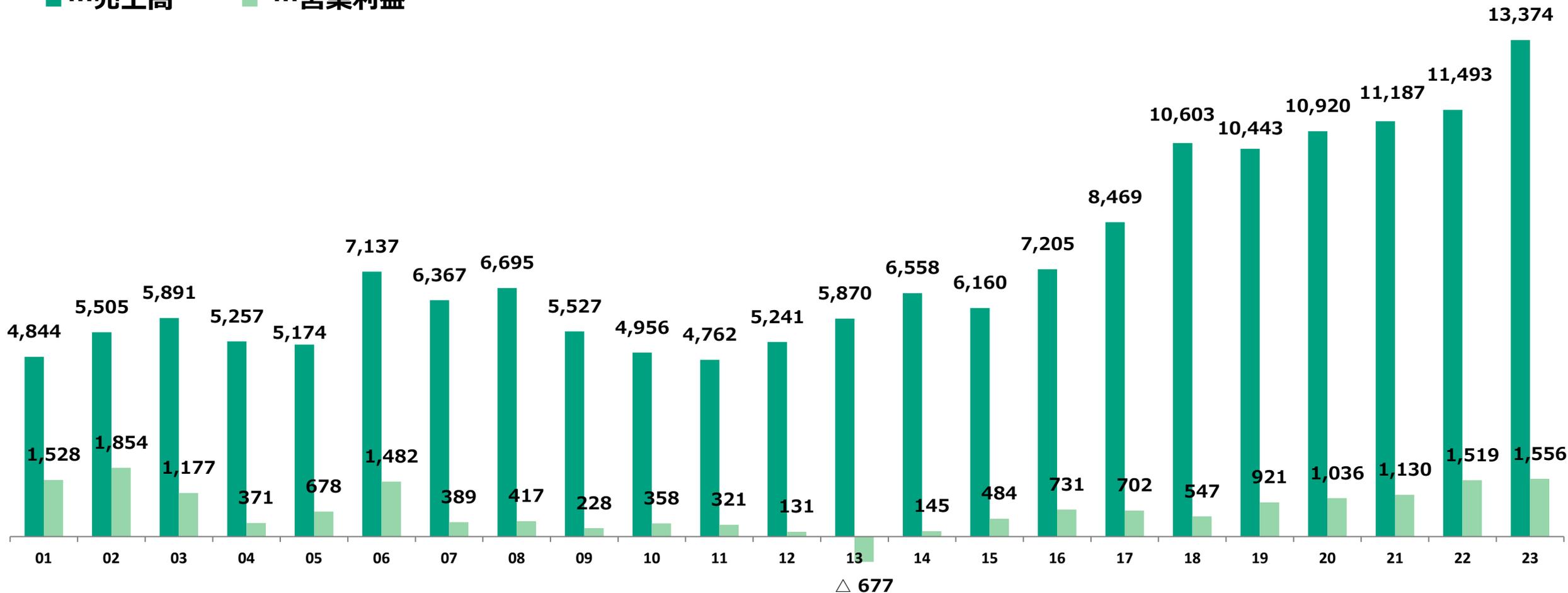
単位：百万円



長期業績推移

単位：百万円

■ …売上高 ■ …営業利益



* 2015年6月期まで連結業績の数値を掲載

参考) 2022年6月期 製品カテゴリ別売上高

単位：百万円

2023年6月期基準による前年度実績

	22年6月期			
	1Q	上期	3Q累計	通期
売上高	2,251	4,887	7,834	11,493
決済・金融	1,787	3,915	6,284	9,229
システム開発	1,082	2,369	3,642	5,089
保守	358	725	1,107	1,497
自社製品・サービス	186	377	482	567
他社製品（ハードウェア等）	160	442	1,050	2,073
クラウドサービス	243	493	793	1,173
セキュリティ	221	478	756	1,090

参考) 主なクラウドサービスの概要

IOASIS™ (アイオアシス)

- ・加盟店契約 (アクワイアリング) 業務に必要なすべての機能を提供するASP型サービス
- ・24時間365日の運用を提供
- ・主な導入企業: 地銀、ネット銀行、中小カード会社、大手事業会社 (通信、小売など)

IPRETS (アイプレッツ)

- ・決済におけるポイント管理システム
- ・ポイント付与、利用、キャンペーン等に対応したASP型サービス

IGATES (アイゲイツ)

- ・国内外の各種決済ネットワークの24時間365日接続システムを提供
- ・国内で高いシェアをもつ当社製品「NET+1」の機能を継承したASP型サービス
- ・主な導入企業: 大手カード会社、中小カード会社、フィンテックベンチャー (スマートバンクほか)

IFINDS (アイファインズ)

- ・クレジット決済不正検知システム
- ・国内で高いシェアをもつ当社製品「ACEPlus」の機能を継承したASP型サービス



(ファリス)

- ・ACEPlus、IFINDSに機能追加
- ・AIを駆使した高度なアルゴリズムを搭載

ルール判定

あらかじめ把握している不正パターンをルール登録同様の取引発生時に自動検知

AIスコアリング判定

過去情報を基に取引の不審度合いを自動でスコア化未知の不正手口を防止

設立 1984年12月27日
所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
従業員数 476名
親会社 大日本印刷株式会社 (50.73%*)
資本金 843,750千円
発行済株式数 26,340,000株 株主数 9,406名

(2023年6月末現在)

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	36.93%	個人・その他	98.07%
金融機関	6.42%	金融機関	0.11%
国内法人	51.06%	国内法人	0.50%
外国法人等	4.49%	外国法人等	1.06%
証券会社	0.88%	証券会社	0.26%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



**本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、
その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、
また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。**

株式会社インテリジェント ウェーブ
経営企画室 E-mail: ir_info@iwi.co.jp